

平成16年3月期 第3四半期業績の概況（連結）

平成16年1月30日

上場会社名 **株式会社 トムス・エンタテインメント**

（コード番号：3585 名証第二部）

（URL http://www.tms-e.co.jp）

本社所在都道府県 愛知県

代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 駒井徳造

問合せ先責任者 役職名 代表取締役副社長 氏名 金子晴彦 （TEL：(052)243-9811）

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法と相違の有無 : 無
 連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 無
 公認会計士又は監査法人による関与の有無 : 無

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 平成16年3月期第3四半期の業績概況（平成15年4月1日～平成15年12月31日）

（1）経営成績（連結）の進捗状況

	売上高		営業利益		経常利益		当期（四半期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
16年3月期第3四半期	10,454	(-)	1,893	(-)	1,828	(-)	1,036	(-)
15年3月期第3四半期	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)
（参考）15年3月期	12,636	(1.6)	1,787	(1.4)	1,795	(5.8)	1,405	(6.5)

	1株当たり当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	
	円	銭	円	銭
16年3月期第3四半期	23	65	23	63
15年3月期第3四半期	-	-	-	-
（参考）15年3月期	31	05	-	-

（2）財政状態（連結）の変動状況

	総資産		株主資本		株主資本比率		1株当たり株主資本	
	百万円		百万円		%	円	銭	
16年3月期第3四半期	17,124		12,520		73.1	289	65	
15年3月期第3四半期	-		-		-	-	-	
（参考）15年3月期	14,877		12,131		81.5	274	03	

（注）1. 売上高、営業利益などのパーセント表示は、対前年同期比増減率を示しております。

2. 四半期業績の開示は当期より実施しておりますので、前年同四半期の実績は記載しておりません。
 また、前年同四半期との比較増減率についても記載しておりません。

3. 平成16年3月期の連結業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

（添付資料3ページ参照）

	予想売上高		予想経常利益		予想当期純利益		1株当たり予想 当期純利益	
	百万円		百万円		百万円	円	銭	
通 期	14,015		2,094		803	18	31	

（注）1. 上記の予想は、本資料の発表時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は
 今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

（参考）経営成績（個別）の進捗状況

	売上高		営業利益		経常利益		当期（四半期） 純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円		百万円		百万円	百万円	円	銭		
16年3月期第3四半期	9,301		1,775		1,737	1,766	40	28		
（参考）15年3月期	11,304		1,687		1,749	1,479	32	77		

平成 16 年 3 月期 第 3 四半期連結業績の概況（9 ヶ月間の累計）

経営成績

当第 3 四半期（平成 15 年 4 月 1 日から平成 15 年 12 月 31 日まで）におきましての連結業績は、長引く個人消費の低迷など依然として厳しい経済状況が続くなか、アニメーション事業、アミューズメント事業ともに、より積極的な営業展開の成果により、売上高 104 億 5 千 4 百万円、営業利益 18 億 9 千 3 百万円、経常利益 18 億 2 千 8 百万円、第 3 四半期純利益 10 億 3 千 6 百万円となり、売上高、利益面のいずれも第 3 四半期計画を上回る業績を達成することが出来ました。

<アニメーション事業>

アニメーション事業におきましては、TVレギュラー番組 7 作の放映、劇場映画 3 作の公開を実現し制作収入の増加に大きく寄与いたしました。また、販売収入では海外販売、ビデオ化権、商品化権が好調となり、特に海外販売は前年同期を大幅に上回る実績となりました。

これらによる当事業全体の売上高は 66 億 3 千 3 百万円となり前年同期に比較し大幅な増加となりました。

<アミューズメント事業>

アミューズメント事業におきましては、個人消費の低迷により業界全般に厳しい状況のなか、当社グループは積極的な新規出店に取組み、当期間中に 4 店舗の出店を果たしました。これにより、当第 3 四半期末のアミューズメント施設店舗数は 26 店舗となりました。

アミューズメント施設運営収入につきましては、既存店は前年同期に比較し若干の減収となりましたが、新規出店の効果が大きく寄与し前年同期を上回る売上高を確保することが出来ました。

アミューズメント事業全体の売上高は 38 億 2 千 1 百万円となり当事業におきましても前年同期を上回る実績となりました。

財政状態

当第 3 四半期末の総資産は、前連結会計年度末に比べ 22 億 4 千 7 百万円増加し 171 億 2 千 4 百万円となりました。増加の主な要因は、現預金、売掛金、有形固定資産、投資その他の資産のうち差入保証金等の増加となっております。負債につきましては、前連結会計年度末に比べ 18 億 5 千 7 百万円増加し 46 億 4 百万円となり増加の主な要因は、買掛金、短期借入金、未払法人税等が増加したことによるものであります。また株主資本につきましては、前連結会計年度末に比べ 3 億 8 千 9 百万円増加し 125 億 2 千万円となりました。

通期の連結業績の見通し

今後の見通しにつきましては、雇用環境は依然として厳しく、個人消費の低迷が予想され厳しい経営環境が続くものと思われませんが、通期（平成 15 年 4 月 1 日から平成 16 年 3 月 31 日まで）の連結業績見通しは、当第 3 四半期の売上高および経常利益実績が計画に対して予定以上に上回った状況を踏まえ、売上高で 66 百万円、経常利益で 2 億 1 千 4 百万円をそれぞれ増額し売上高 140 億 1 千 5 百万円、経常利益 20 億 9 千 4 百万円を見込んでおり、売上高、経常利益は過去最高となる見通しであります。

なお、最終の当期純利益につきましては、単独決算におきまして固定資産の減損会計を当事業年度より早期適用することとし、当該減損損失を特別損失として計上する予定であり当期純利益は 8 億 3 百万円を予定しております。

（ご参考）

単独決算の業績見通し

単独決算の業績見通しにつきましては売上高 122 億 7 千 4 百万円、経常利益 19 億 4 千 8 百万円、当期純利益 14 億 8 千 7 百万円を見込んでおり、何れも過去最高額となる見通しであります。

なお、当期末の株主さまへの配当金につきましては普通配当 5 円にアニメーション事業 40 周年記念配当 2 円 50 銭を加えまして 1 株につき 7 円 50 銭を予定いたしております。

四半期連結財務諸表
四半期連結貸借対照表

【単位：千円未満切捨】

期 別 科 目	平成16年3月期 第3四半期末 (平成15年12月31日現在)	前連結会計年度の 要約貸借対照表 (平成15年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	11,269,953	9,769,434
現金及び預金	7,815,682	7,414,549
受取手形及び売掛金	1,677,279	760,607
たな卸資産	1,249,222	1,072,695
その他	527,768	521,583
固定資産	5,854,928	5,107,971
有形固定資産	3,388,135	3,091,185
無形固定資産	149,945	140,216
投資その他の資産	2,316,847	1,876,569
資産合計	17,124,881	14,877,406
(負債の部)		
流動負債	3,901,824	2,073,644
支払手形及び買掛金	1,822,463	1,397,713
短期借入金	475,943	238,367
その他	1,603,418	437,563
固定負債	702,185	672,597
長期借入金	287,986	298,760
その他	414,199	373,837
負債合計	4,604,009	2,746,242
(少数株主持分)		
少数株主持分	-	-
(資本の部)		
資本金	8,816,866	8,816,866
資本剰余金	1,806,323	1,806,323
利益剰余金	2,404,451	1,623,532
(うち当期純利益)	(1,036,969)	(1,405,196)
その他有価証券評価差額金	32,913	4,368
為替換算調整勘定	115,021	115,705
自己株式	424,661	4,222
資本合計	12,520,871	12,131,163
負債、少数株主持分及び資本合計	17,124,881	14,877,406

四半期連結損益計算書

【単位：千円未満切捨】

科 目	期 別	平成16年3月期		前連結会計年度	
		第3四半期		〔 自 平成14年4月 1日 〕	
		〔 自 平成15年 4月 1日 〕		〔 自 平成15年3月31日 〕	
		金 額	百分比 (%)	金 額	百分比 (%)
(経 常 損 益 の 部)					
営業損益の部					
営業収益					
売 上	高	10,454,952	100.0	12,636,831	100.0
売 上 原 価		7,179,380	68.7	8,921,258	70.6
売 上 総 利 益		3,275,572	31.3	3,715,573	29.4
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		1,381,875	13.2	1,927,645	15.3
営 業 利 益		1,893,697	18.1	1,787,928	14.1
営業外損益の部					
営 業 外 収 益		31,355	0.3	65,325	0.5
営 業 外 費 用		96,957	0.9	57,747	0.4
経 常 利 益		1,828,095	17.5	1,795,505	14.2
(特 別 損 益 の 部)					
特 別 利 益		3,759	0.0	228	0.0
特 別 損 失		147,619	1.4	253,098	2.0
税金等調整前第3四半期(当期)純利益		1,684,236	16.1	1,542,636	12.2
法人税、住民税及び事業税		549,918	5.3	67,594	0.5
法人税等調整額		97,348	0.9	69,845	0.6
第3四半期(当期)純利益		1,036,969	9.9	1,405,196	11.1

四半期連結剰余金計算書

【単位：千円未満切捨】

科 目	期 別	平成16年3月期 第3四半期 〔自平成15年4月1日 至平成15年12月31日〕		前連結会計年度 〔自平成14年4月1日 至平成15年3月31日〕	
		金 額		金 額	
(資本剰余金の部)					
資本剰余金期首残高					
資本準備金期首残高			1,806,323		1,806,323
資本剰余金第3四半期(当期)期末残高			1,806,323		1,806,323
(利益剰余金の部)					
利益剰余金期首残高					
連結剰余金期首残高			1,623,532		471,096
利益剰余金増加高					
第3四半期(当期)純利益		1,036,969	1,036,969	1,405,196	1,405,196
利益剰余金減少高					
1 配当金		220,718		220,759	
2 役員賞与金 (うち監査役賞与金)		35,300 (3,200)		32,000 (3,200)	
3 自己株式処分差損		32	256,051	-	252,759
利益剰余金第3四半期(当期)期末残高			2,404,451		1,623,532